

番号・課題名	9 B L U P法を利用した軍鶏純系の改良 ～東京しゃもの成績向上を目指して～
所属・氏名	環境畜産部 ○近藤 機 小嶋禎夫

#### 〔目 的〕

東京しゃも作成に利用する軍鶏純系の能力向上のため、より遺伝的能力を正確に推定するB L U P法による育種値を用い改良する。

#### 〔方 法〕

平成13年度から、B L U P値に基づく育種の選抜反応を調査する目的で試験を開始した。本試験では雄体重のB L U P値を基準に雄のみをB L U P値で選抜した。B L U P値算出に当たっては、Dr. Elildert Groeneveldの「V C E」および「P E S T」プログラムを用いた。算出にあたってのデータは1996年から2001年にかけての6世代にわたる軍鶏の血統情報およびその16週齢体重と産卵個数を用いた。

#### 〔結 果〕

軍鶏純系種の表形値の推移は表1、表2に示した。各世代年度は、これ以降表右に示した世代No.を用いる。

図1に各世代別の体重B L U P値、図2に13年度の体重と産卵個数のB L U P値、図3に6世代の産卵個数B L U P値を示し、6世代については推定値とした。

5世代までは雄は16週齢の体重のみで選抜し、雌は16週齢の体重と産卵率で選抜したが、図1のとおり、体重B L U P値は毎世代ごとに上昇している。

13年度の第6世代の選抜は、雄は16週齢のB L U P値で選抜し、雌は従来どおり16週齢の体重で選抜した。

#### 〔考 察〕

今年度の、雄のB L U P値による選抜で、最終的に交配に用いられる雄鶏のB L U P値は、もとの集団のB L U P値よりも高くなった。平成14年度は、この選抜の反応を調査する予定である。

雌の選抜については、選抜時点で産卵成績が得られていないため、親の産卵成績によるB L U P推定値で選抜しなければならない。このため、実際の選抜に当たっては、試験区を設けB L U P推定値で選抜するものと、体重のみによる選抜の慣行区を設けて平成14年度より比較試験を行い、B L U P選抜による効果を実証する。

表1 軍鶏純系体重（雄） 単位：g

週齢	4	12	16	20	28	世代No.
8年度	303	1629	2191	2987	3797	1
9年度	322	1783	2420	2784	3794	2
10年度	330	1816	2445	2617	3616	3
11年度	310	1635	2328	2730	3586	4
12年度	279	2090	2465	2943	3846	5
13年度	328	1580	2263	2802	3805	6

表2 軍鶏純系体重（雌） 単位：g

週齢	4	12	16	20	28	世代No.
8年度	274	1352	1618	2167	2662	1
9年度	299	1439	1810	2132	2591	2
10年度	304	1471	1874	2179	2691	3
11年度	278	1285	1749	1930	2555	4
12年度	265	1378	1650	1934	2405	5
13年度	288	1235	1703	2027	2615	6

図1 体重 BLUP 値の推移

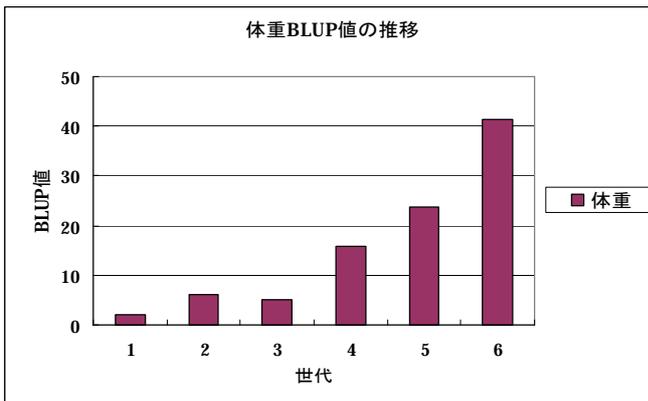


図2 体重と産卵個数の BLUP 値

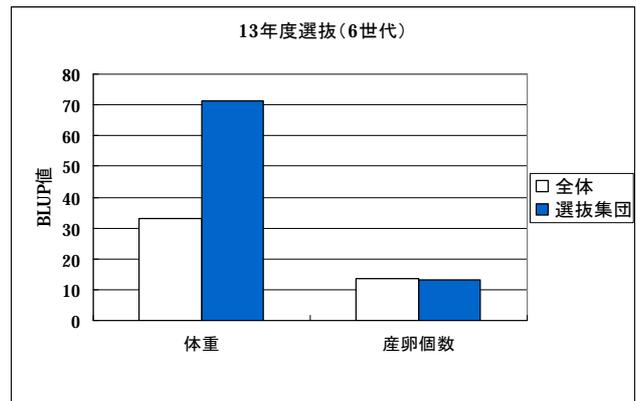


図3 産卵個数の BLUP 値

